

咲
きし
花
は
夜
に
光
る



成人向同人誌

※18歳未満の方は購入できません

紅魔館

お嬢様…

…ん？

何かしら

紅茶のリーフを使用していませんので、
ノンカフェインなのも特徴です

…いいわね、気に入ったわ…

…ところで咲夜…

そうね…
いつもとはだいぶ違うわね

本日の紅茶は
お口に合いましたでしょうか？

フルーツガーデンと申しまして
ドライフルーツをふんだんに使用した
フレーバーティーでございます

香りはもちろん
黄沢な味ね

貴方…



……

…えっ？



働き過ぎ！



だから！
貴方最近働き過ぎて言ってるのよ！

そんなことは…

貴方、最後に休みを
取ったのいつよ？

…えっと…
2年…前…？



それでよく
休んでるなんて
言えるわね…

私は紅魔館の
メイド長です！

お嬢様に仕え、
お嬢様と過ごすことが
無上の喜び…



…もう

話は最後まで
聞きなさいっての…



私は今のこの時が最高に
幸せなのです！

あっ！ちよつと
まだ話が…！

午後の支度がありますので
これで！



いえいえ
全然大丈夫ですよ！

お嬢様がお呼びのようなら
遠慮せずに声をかけてね

ええ
悪いけどちょっとだけ休憩もらうわね

はいっ！



…あつ！

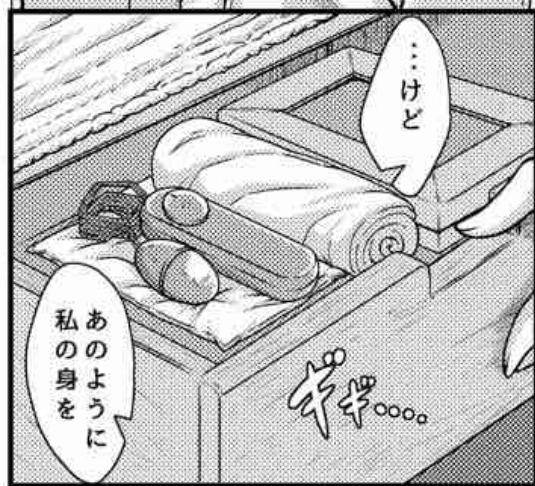
カツ
カツ



…ん？

今から休憩ですか？

咲夜さん！



…けど

あのよう
私の身を

ギョッ……



お嬢様の近くに待り
お嬢様のために尽くす

そう
私は紅魔館のメイド長



気にかけて、案じてくださる…
その優しさに私は…



無知蒙昧
ただひたすら
そう思い込んでるだけ
かもしれない…

それこそが私の
アイデンティティ



ああああお嬢様…
お嬢様をオカズにするなんて…

自分の主を…
んんあ…

あああても…
あの可憐なお姿…

ビク

ビク

あの綺麗なお声を聴いたら…

ビク

私…最低のメイド…
ああああ!

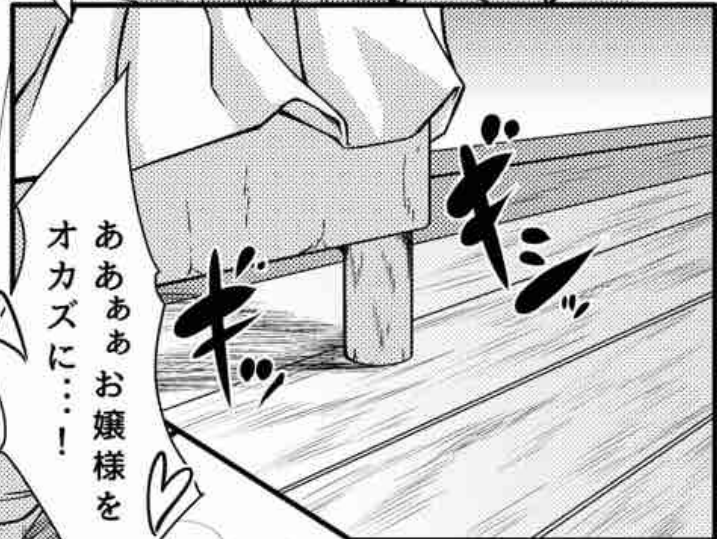
ドクッ

ビク



ああああ!
我慢できなくなるんです!

あああ!



ああああお嬢様を
オカズに…!!

ギシ



咲夜…イッてしまいますうう!
お嬢様あああああ!

ビクッ!



イク…イクうう!

あああ…
くる…



またやっちゃった...

お嬢様をオカズにして...
何考えてるの...私...



はあ...はあ...

...はあ...
...もう...



そのうち見透かされて...

...こんなことすればするほど
近くに行けないような気がして...

今はまだただ単に
働き過ぎだと
思われてるかもだけど...



咲夜さん？

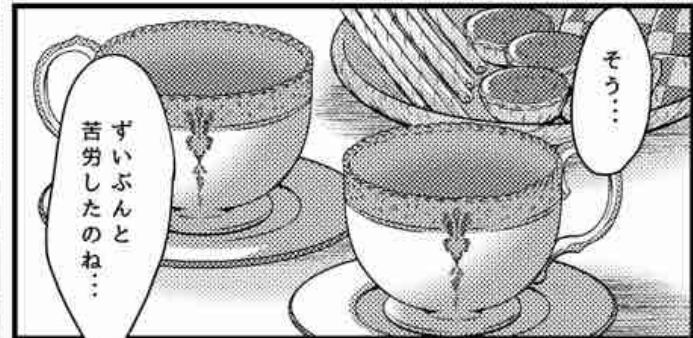
お休みのところ
すいませーん



お嬢様が好きなだけ...

そしてそのそばに
侍らせてくれれば私は...

ああああ...駄目...
頭の中グチャグチャ...
なに自分のこと
正当化させてるのよ...





てっ…

さてど…

もうそろそろ
かしらね…

えっ…もうそろそろ…

あっ…あのお嬢様…

そちらの少年は…
どちら様で…

ふふふ…
よくぞ聞いてくれたわ

ナイス咲夜!

いつ、
いきなり人がああ!

うわああああああ!

お待ちせ…し…





あっ…あの…
僕のことでご迷惑を…

ああ…いや違うわよ…
けっして君を邪険に
してるわけじゃなくて…

ただ…急な話だったから
私もどうしたらいいか…



…まったくもう…



お嬢様もいきなり無茶を…

人ひとりを預かるなんて
そう軽い話でもないのに…



男の子…



えっと…
ヒカル…君？

はい！

親御さんは一人も？

はい…
身内は誰も…

そう…



ばっ…馬鹿っ！

何考えてるの私…！

？



まあでも…
男の子なら
力仕事も…

いろいろと任せて…



給仕

掃除

買出し

それから
というもの…

生贄

完璧っ

洗濯

何やらせても…

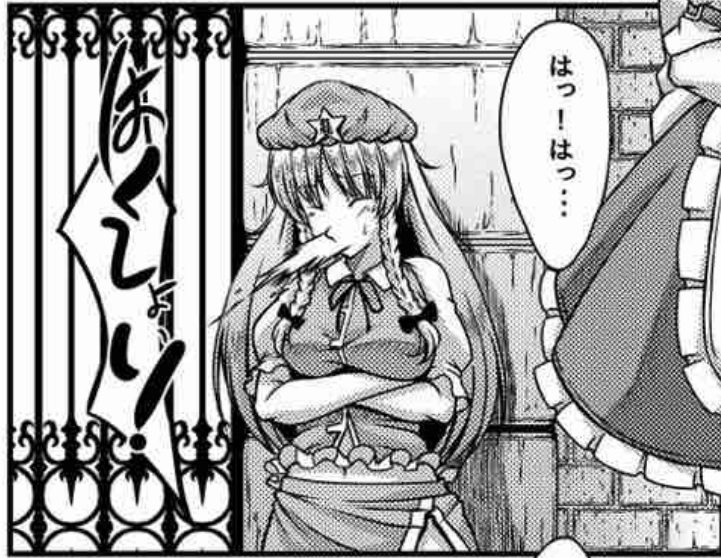
ドキ
ドキ

ギョ
??
??



はい！
どこかのサボリ魔とは
大違いですわ

アハ



はっ！はっ…



あの子、
少しは役に立ってると
いうことかしら？

最近顔色が
良くなったわね咲夜

そっ、そうですか…



私…咲夜は幸せでございます

独り身のあの子を助けたのはもちろん、
私の身を案じてくださったのですよね…

ふふ…そう思いたい
ならそうしなさい



あの子はあの子で
いろいろと頑張って
くれてるわよ

邪険にしないであげてよね
へそ曲げると面倒なんだから

ふふふ
冗談ですわ



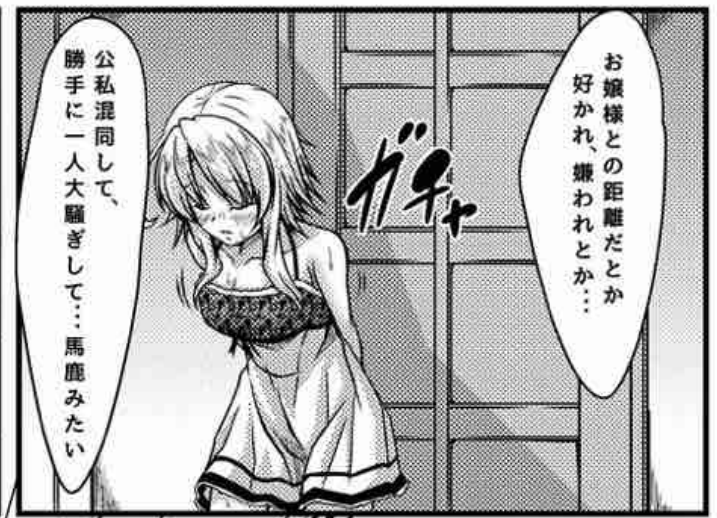
…お嬢様

ん？



さっさと済ませせちやお...

一人間々としてくるくらいなら
さっさと顔洗って寝るだけね...



お嬢様との距離だとか
好かれ、嫌われとか...

公私混同して、
勝手に一人大騒ぎして...馬鹿みたい



んんはっ!
はっ!

ああああ...
さっ、咲夜さん...咲夜さん!

ああああくっ...
咲夜さああん...



...ん?

明かりが...誰か使用中?



もう、明かりはちゃんと
消すように言ってるのに...

そのうえドアもちゃんと...



開めて...



びい

あああぐっ!

ドク

咲夜さあん!

あああああああ!

あっ...あっ...

ええ...ヒカルちゃんはまた
そういうことしなれと思ったのに...



やつ、やだ...
ヒカルちゃん、何してんのよ...

しっ、しかもあれ私の
下着...私がオカズなの？



おっ、男の子
だもんね...

こんな女子ばかりの
場所じゃ...

ドク

びい



どうしよう...
こういう時って怒るべきなの？

いやでも、
オナニーくらい誰だって...



嫌だもう...
男の子へのこういう時の
対処って...

任された手前
ちゃんと言って...





原作 : 上海アリス幻楽団

発行 : Guild Plus tatsuya
印刷 : 丸正インキ有限公司

Mail : super_sonico_saga@yahoo.co.jp
URL : https://twitter.com/guild_tatsuya